事例No.	2021
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	福島県中島村

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	消防・防災

事例内容・タイトル

共同で作成したアプリの土台を利用し、村の防災アプリを作成

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

41 共同で作成したアプリの土台を利用し、村の防災アプリを作成【福島県中島村】

事業の概要

○　中島村は、白河広域市町村整備組合が構築した共同運用のCMSに連携した、村の防災アプリを作成した。

○　共同運用のCMSに連携することで、自治体単独でシステム構築するよりもコストを抑制することができ、構築したシステムベースを利用して自治体ごとにアプリを作成することにより、各団体のニーズや特性に応じたアプリにすることができる。

○　中島村のアプリは、シンプルで見やすい構成であり、主要な機能がトップページに集約されている。
　また、災害時に使用できる照明機能(右図「照らす」)や音により周囲に居場所を知らせる機能(右図「ホイッスル」)がアプリ上から使用できる。



【参考情報①】 人口：0.5万人
関連URL：http://www.vill-nakajima.jp/page/page000763.html
（村HP）

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（中島村）

令和元年台風19号の際、防災情報や避難情報を防災無線で周知していましたが、防災無線だけでは聞き取りづらいとの意見を受け、新たな情報発信手段としてアプリを導入しました。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



新しい生活様式に対応しながら、防災情報発信機能を強化するために、令和２年度に内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しました。



事業の近況を教えてください。



導入から186件のインストールがありましたが、住民の方への周知がまだ不十分だと感じているため、今後広報誌等を活用して、アプリのインストール促進を行っていきたいと考えています。

★担当：中島村住民生活課★

令和3年度事業費　106千円